

こくりにゆうだよ



大阪府立桜塚高等学校 2年 佐伯 『white』

「背景を考えるのに割と時間がかかりましたが、最終的にシンプルな感じに落ち着きました。」



今後のイベント情報

※場所の記載がないものはとよなか国際交流センターで開催します。



おまつり地球一周クラブ

中国を知ろう

11月22日(土)10:30~12:00

中国出身の講師から母国に関するお話を聞いたり、遊んだりする小・中学生向けの国際理解プログラムです。

※保護者は最後の30分のみ見学可

講師：リン・イナさん

コウ・ガクトウさん

参加費：無料

持ち物：筆記用具・水筒

定員：小・中学生 15人

(先着順・要申込)

※11月3日(月/祝)10時~申込開始

日本語交流活動

ボランティア養成講座

11月29日(土)10:30~16:30

当センターでは、日本語を通して地域の外国人と日本人が交流することを目的としている「日本語交流活動」を実施しています。

本講座では、活動で大切にしたい視点や外国人をとりまく現状について多様な角度から学びます。

対象：講座終了後、ボランティアとして活動できる人

参加費：無料 定員：25人(先着順)

申込：電話、メール、来館にて受付

※11月6日(木)10時~申込開始

世界を食べよう

ジャンジャンキムジャン!

キムチ作り

12月6日(土)10:30~12:00

講師と一緒にキムチづくり体験をします。ぜひご参加ください。

参加費：2000円

持ち物：エプロン・食器用ふきん

定員：16人(先着順・要申込)

※11月7日(金)10時~申込開始



【報告①】9/2,9,16（火） 多文化子育てボランティア養成講座を開催しました。

多文化子育て支援事業「外国人ママのための場所『おやこ』（おかまち・しょうない・せんり）」「多文化子ども保育『にこにこ』」の新規ボランティア希望者に向けた講座を開催し、11名が参加しました。

第一回（9/2） 「ボランティアをはじめよう！～子育て支援ボランティアが大切にしたい視点とは～」

講師：上村有里さん（(特活)とよなかESDネットワーク事務局長、豊中市立市民公益活動支援センター センター長）

豊中で子育て支援ボランティアとして長く活動されてきた経験のある上村さんから、子育てと保育の違いであったり、参加者だけでなくボランティア自身も成長していくこと、ボランティアの心構えなどについてご講演いただきました。

また活動を進めていく中で大切にしていきたいこととして「誰でも入りやすい雰囲気づくり」「参加者をお客さん扱いたくない」などの場づくりだけでなく「空気づくり」をあげられていました。参加者からは「初めてのボランティアなので、心構えを知ることができてよかった」などの感想が寄せられました。



第二回（9/9） 「違いを知ることが、支援のはじまり～異国で子育てする母たちの声から～」

講師：芦村ケヴィンさん（Mamo Heart 代表）

インドネシア出身のケヴィンさんから「異国で子育てするママたち」についてご講演いただきました。具体的な事例を示しながら、出産から子育てまで、自分が知っている子育てとの違いに葛藤するママたちのためにサポートをするためにはどうすればよいかということ学びました。支援者として「まずは『あなたのことを教えて』ときく」「『知らないこと』は『わからないこと』じゃない」「参加者の要望は本当にわがままなのか」といったことについてしっかりと考える必要はないと考えさせられました。



第三回（9/16） 「とよなか国際交流協会の事業紹介および 現役ボランティアによる活動紹介」

講師：現役ボランティア、協会職員

前半は、当センターの職員三木が豊中市の在住外国人に関する現状や課題や当センターが行っている子どもにかかわる事業について話しました。後半は現役ボランティアから実際の活動についてのお話のあと、各活動に分かれて質問などの時間を取りました。どの活動も場を設定するだけでなく、迎え入れるための空気感も大事にしようというメッセージが込められていました。

10月から各活動で新規ボランティアが楽しく、また自分らしく活動ができるように、一緒に取り組んでまいります。(協会職員・安村梨紗)



【報告②】9/6（土） English Day プエルトリコ編を開催しました！

9月6日にEnglish Day プエルトリコ編を開催しました。大阪大学留学生のレイさんを講師にお招きしたイベントで、33人の参加がありました。

プエルトリコはカリブ海に位置し、アメリカの自治領として独自の文化を持っています。美しいビーチに加え、豊かな自然や多くの動物が生息していることも知ることができました。

特に印象的だったのは、レイさんの故郷・アティージョで毎年12月に行われる「マスク祭り（Festival de las Máscaras de Hatillo）」のお話です。人々が色とりどりの仮面や衣装を身にまとい、街をパレードする様子からはプエルトリコの活気ある文化を感じることができました。さらに、プエルトリコでも日本のアニメは大人気で、お祭りではアニメの飾り付けを行う人も多くいるそうです。普段あまり馴染みのないプエルトリコについて学ぶと同時に、英語でコミュニケーションをとる貴重な機会となりました。今回のイベントは、プエルトリコにさらに興味を持つきっかけを与えてくれました。（高校生ボランティア・若狭るな）



講師のレイさん

子どもサポート事業（学習支援サンプレイス）でボランティアをしていた岩根あずささんが、2020年7月よりノルウェーで生活されています。日本から遠く離れた地での生活や現地の様子について、あずささんにレポートしていただきます！

みなさんこんにちは。オスロは紅葉も進み、秋の訪れを感じる季節になりました。以前、ノルウェーの育児休暇制度について紹介しましたが、今回は子どもを迎えた親たちに向けたユニークな制度、barselgruppe（バーセルグループ）を紹介したいと思います。

barselgruppe（バーセルグループ）とは、barsel（＝産褥期）、gruppe（＝グループ）という言葉の通り産後の親と赤ちゃんのための集まりを指しています。ノルウェーで出産すると住んでいる地域の保健センターから、自分と同時期に出産したお母さんと赤ちゃんたちが一つのグループに割り振られます。バーセルグループでは、お母さんと子どもたちが交流したり、情報交換することができます。社会からの孤立を感じたり育児に関する不安を感じたりしやすい産後の時期に、お互いに悩みを相談しあったり、気軽にお茶に誘ったり、親たちのつながりを作ろうという制度です。バーセルグループの集まりでは、助産師や看護師が同席して専門的な知見から育児の相談に乗ってくれることもあります。1回目の集まり以降はグループ内で連絡先を交換して、どんどん一緒にお出かけをしたり、カフェに行ったりしてね！と案内されます。制度化されたグループを通じて、地域とのつながりが途切れてしまわないように自治体が積極的にサポートしています。

バーセルグループはお母さんと赤ちゃんの集まりと書きましたが、もちろんお父さんバージョンもあります。ノルウェーでは両親それぞれに育児休暇が義務付けられており、多くの場合、お母さんの休暇が終わるとお父さんが育児休暇を取ります。その際、お母さん同士がつながっていたグループは、今度はお父さん同士へと受け継がれ、公園やカフェで集まり交流を深めます。ベビーカーを押したお父さんたちがカフェに集う姿は「Lattefar（ラテファー）」と呼ばれたりします。さらに、養子を迎えた家族を対象にしたグループも存在します。

このように自治体が積極的にグループを組織してくれることは、「自分から集まりを探さなければ」という負担を軽減し、育児期の孤立を防ぐ大きな助けとなります。こうした取り組みを通じて、地域社会がより豊かで支え合えるものになっていくのかもしれません。

【報告③】 9/21（日） 子ども・若者事業のボランティア向けに研修を行いました。

子ども事業ボランティア・若者事業のコーディネーター研修として、北野真由美さん（NPO 法人えんばわめんと堺/ES事務局長）をお招きして、「お互いのからだところをたいせつにする関係性について考えてみよう」題した研修を行いました。

前半は子どもと関わるうえで大切にしたいこととして、子どもの権利条約と、こども基本法についてお話いただいたあと、自分のバウンダリー（境界線）に気が付くためのミニワークをしていただきました。

後半は子ども自身が自分の権利やバウンダリーについて理解することの必要性についてもお話していただきました。参加者は子どもに関わる具体的な場面を振り返りながら話を聞いており、こころとからだを大切にすることをどのように伝えていけばよいのかを知ることができました。「子どもだからと思って身体的な接触やプライベートな質問などに答えていましたが、自分の意志を伝えていいんだと思いました」などの感想をいただきました。

子ども・若者事業では、参加する子ども・若者がもつバウンダリーをどうとらえるべきか、といった話し合いがもたれることもあります。今後も定期的にこうした研修を通して、参加者が安心して参加できる、安全な場づくりを目指していきます。（協会職員・安村梨紗）



当日の様子

2025

11月の事業開催カレンダー

●豊中市で暮らす外国人の数（2025年9月末時点）

8,466人（前月比+83人）

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
					01 どあさ 相談 	02 貸室抽選会 がちゃ 庄内
03 文化の日	04 おやこ 相談 こんぱす 	05 休館日	06 千里 木ひる にこにこ 相談 	07 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 	08 どあさ 相談 	09 がちゃ 母語 サンプル 庄内
10 もつと 相談 	11 おやこ 相談 こんぱす 	12 休館日	13 千里 木ひる にこにこ 相談 	14 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 	15 つとい 相談 	16 がちゃ サンプル 庄内
17 もつと 相談 	18 おやこ 相談 こんぱす 	19 休館日	20 千里 木ひる にこにこ 相談 	21 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 	22 どあさ 相談 	23 勤労感謝の日 がちゃ 母語 サンプル
24 振替休日	25 おやこ 相談 こんぱす 	26 休館日	27 千里 木ひる にこにこ 相談 	28 金あさ にこにこ 相談 こんぱす 	29 どあさ 相談 	30 がちゃ サンプル 庄内

センターが主催する定例事業

月曜日…もつともつとつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00～12:00 11:00～16:00
火曜日…おやこ(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:00～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
木曜日…とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 つながれ とよなか オンライン!	13:30～15:00 13:30～15:00 10:00～11:30 11:00～16:00 19:00～20:00
金曜日…とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんぱす	10:30～12:00 10:30～12:00 11:00～16:00 17:00～19:00
土曜日…韓国・朝鮮のことばとあそびのつとい ※基本、毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談 みんなでにほんご・どようあさ	9:30～11:30 11:00～16:00 10:00～12:00
日曜日…にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプレイス※第1日曜日のぞく 若者のたまりば※第1日曜日のぞく 庄内にほんご(庄内コラボセンターで実施)	10:00～11:45 10:00～11:30 13:00～15:00 13:00～15:00 13:00～15:00

今月のピックアップ

外国人に使える・伝わる

やさしい日本語セミナー

①11月27日(木)10:00～11:30

②12月7日(日)13:30～15:00

外国人と日本語でコミュニケーションがとれるようになる
コツと実践について学びます。

対 象：関心のある方

定 員：各回40名(先着順・要申込)

参加費：無料 ※11/3(月・祝)10時より申込受付開始

場 所：①庄内公民館(豊中市庄内幸町4-29-1)

②とよなか国際交流センター

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第199号(2025年11月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F

(阪急宝塚線豊中駅すぐ)

開館時間:9:00～21:30 受付時間:9:00～17:30(水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

